

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公表番号】特表 2019-503554 (P2019-503554A)

【公表日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2018-525660 (P2018-525660)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/058 (2010.01)

H 0 1 M 4/587 (2010.01)

H 0 1 M 10/0565 (2010.01)

H 0 1 M 4/66 (2006.01)

H 0 1 M 4/38 (2006.01)

H 0 1 M 10/0525 (2010.01)

H 0 1 M 4/13 (2010.01)

H 0 1 M 4/139 (2010.01)

H 0 1 M 4/62 (2006.01)

H 0 1 M 4/70 (2006.01)

H 0 1 M 4/134 (2010.01)

【 F I 】

H 0 1 M 10/058

H 0 1 M 4/587

H 0 1 M 10/0565

H 0 1 M 4/66 A

H 0 1 M 4/38 Z

H 0 1 M 10/0525

H 0 1 M 4/13

H 0 1 M 4/139

H 0 1 M 4/62 Z

H 0 1 M 4/70 Z

H 0 1 M 4/134

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 27 日 (2019.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気化学セル層の製造にあたり、

アノード活物質を組み込むアノードカーボンナノチューブが支持されるアノード基材を含むアノードを形成すること；

カソード活物質を組み込むカソードカーボンナノチューブが支持されるカソード基材を含むカソードを形成すること；

前記アノードおよびカソード基材の間に密着するように構成される固形ポリマー絶縁体を形成すること；および

アノード、カソードおよび固形ポリマー絶縁体をぴったりと合った関係に組み立て、相

互平面を形成すること

を含み、

前記アノードおよびカソード基材のみの間に取り付けられた固形ポリマー絶縁体が、前記面  
の一方の側に接し、

前記カーボンナノチューブが、前記固形ポリマー絶縁体の真向いの、前記面の異なる側  
に接する、方法。

【請求項 2】

固形ポリマー絶縁体はフォトリソグラフィーによって形成される、請求項 1 の方法。

【請求項 3】

アノードおよびカソードカーボンナノチューブの間にポリマー電解質ペーストを充填することをさらに含む、請求項 1 の方法。

【請求項 4】

ポリマー電解質ペーストを固形状態に硬化させることをさらに含む、請求項 3 の方法。

【請求項 5】

組立後にアノードおよびカソードカーボンナノチューブの間を充填することをさらに含む、請求項 3 の方法。

【請求項 6】

ポリマー電解質には、官能化ポリ（エチレングリコール）、リチウム塩、イオン液体、およびグラフェンオキシドが含まれる、請求項 3 の方法。

【請求項 7】

前記固形ポリマー絶縁体が、前記アノード及びカソード基材の部分の間の約 30  $\mu\text{m}$  のギャップ内に取り付けられる、請求項 1 の方法。